

ジオパークと神話の世界

Itoigawa Geopark

小河原 孝彦、小林 猛生（糸魚川ジオパーク協議会）



小滝川ヒスイ峡(国天然記念物)

「世界最古のヒスイ文化」が花開く！

糸魚川では、今から約7,000年前の縄文時代にヒスイを使いはじめました。およそ3,000年前にメソアメリカ（メキシコ周辺）で栄えたオルメカ文明より歴史が古く、人類で最初のヒスイ文化といわれています。

約5億2千万年前、地下深いプレート境界で生まれたヒスイが地表に現れ、私たちの歴史や文化に大きな影響を与えているのね。

日本国内や朝鮮半島の遺跡から出土する大珠や玉類などのヒスイ装飾品は、すべて糸魚川産なんだ！



糸魚川ジオパーク
マスコットキャラクター
ぬーな

ヒスイを身にまとった奴奈川姫

かつて高志国（現在の北陸地方周辺）を治めたという才色兼備の奴奈川姫。日本最古の歴史書『古事記』には、大国主命が出雲の国（島根県）からはるばる求婚に来た、と記されています。

大国主命は、国を守り、人々を治めるために霊力を秘めると考えられたヒスイを求めたのよ。ちなみに、私は「奴奈川姫」のキャラです！



2人は結婚し、諏訪社の祭神・建御名方命が生まれたよ。糸魚川周辺には、奴奈川姫を祀る神社が多く、たくさんの伝説も残っているんだ。



奴奈川姫の系譜

Nunakawahime
奴奈川姫

Ookuninushinomikoto
大国主命

【文献の記載】『古事記』『万葉集』 大国主命から奴奈川姫への妻問和歌「淳名河の底なる玉～」記載

長男

次男

長女

Takenunakawaonomikoto
建沼河男命

Takeminakatanomikoto
建御名方命

Mihosusuminomikoto
御穂須須美命

※ 長女の御穂須須美命は、『出雲国風土記』にのみ記載が見られる。



長者ヶ原遺跡(国史跡)とヒスイ製大珠



奴奈川姫と建御名方命(海望公園)